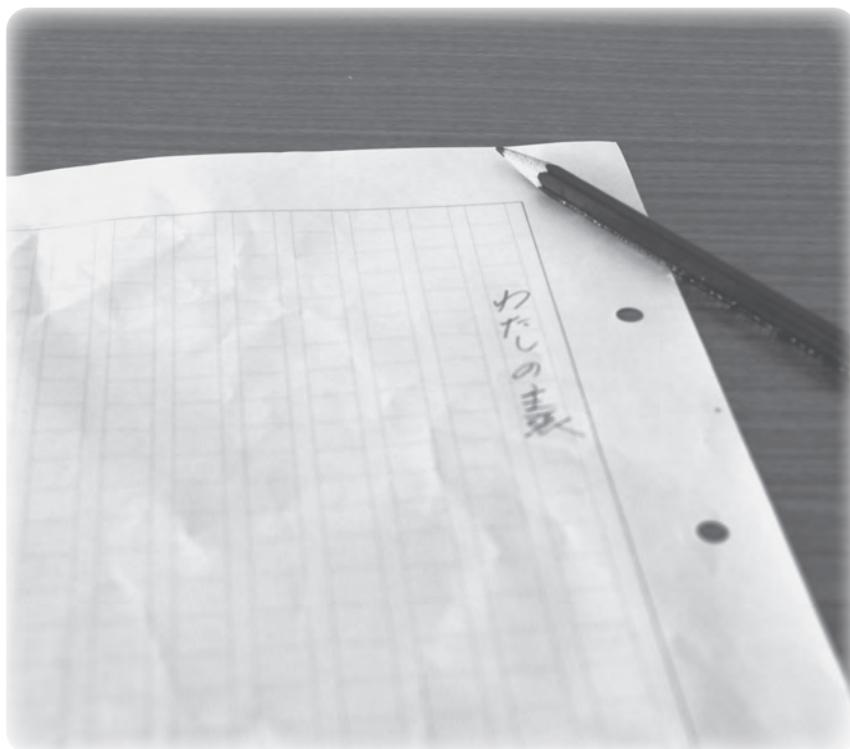


みんなに伝えたい わたしたちの想い



中学生が日頃考えている意見や主張、普段の生活の中で感じる家族や仲間との絆などを発表する「関川中学校わたしの主張大会」が7月21日、関川中学校で開かれました。各学年から選ばれた代表6人が、6分以内という規定のなか、言葉の一つひとつに心をこめ力強く発表しました。審査の結果、村上・岩船地区大会（県村上健康福祉事務所主催）出場者に鈴木大輝さん（3年・下関）が選出されました。

鈴木さんは、8月19日に行われた同大会で発表し、奨励賞を受賞しました。
*発表の概要は次のとおり。発表順。



佐藤 七海さん
(1年・辰田新)

いじめについて 考えたこと

いじめが原因で自殺するという悲しい出来事が起こっています。自分の身の回りにいじめがあったとしても、なかなか解決しないのは、見ているだけの人がいるからだと思います。自分一人では止められなくても、誰かと一緒ならできるかもしれないし、止めるように動く方がよほどいいと思います。いじめは、インターネットでも起こります。自分の経験から思ったのは、言葉の伝え方の難しさです。自分の話す言葉や使い方、言い回しはいいのか、相手はどう感じるのか、嫌な思いをするだろうかなど、自分は悪気はなかったんだ、という自分の気持ちだけで考えず、相手の気持ちになって考えたり、話したりしていくことが大切だと私は思っています。



高橋 直弘さん
(1年・上土沢)

祖父への恩返し

テレビを見ていて驚きのニュースがありました。それは、高齢者向けの福祉施設で起こった事件です。イライラして高齢者に暴力を振るうのは絶対にだめだと思います。ある友達は、高齢者の気持ちがかかる人が施設で働けばいいと言っていました。また、施設で働く人の数を増やした方がよいという意見もありました。僕も施設で働く人にゆとりがあった方がよいと思います。僕の祖父は、以前、米の袋を持ったときに、「昔は、もつと力があつたのに。」と悔しそうに言っていました。祖父のことが好きだから、将来、発明家になって、自動で何かをしてくれる物を発明し、日本中の高齢者やその家族、施設で働く人たちの役に立ちたいと思っています。

2017 関川中学校

「わたしの主張」大会

おもてなし



渡辺美玲さん
(2年・高田)

来日する中国人が増え、「爆買」を積極的に取り上げて報道していました。中には、中国人のマナーの悪さを指摘するだけでなく「中国人批判」になってしまっているものもあり、悲しく思います。母が中国人である私には感じることはありません。「一部」の人がしていることが、中国人「全員」がしていることのように感じてしまう人もいるのではないのでしょうか。外国人が訪れる国に対して調べておくことも大切ですが、受け入れる日本人の配慮も必要だと考えます。その配慮が「おもてなし」の心なのだと思います。2020年の東京オリンピック・パラリンピックまであと3年。日本人と外国人の認識の違いを理解し、「おもてなし」によって支えたいです。

友達へ



小島かすみさん
(2年・下関)

私にとって友達は大切な存在です。私を大切にしてくれる人を友達にできた幸福感を友達にも感じてほしいと思っています。しかし、社会に目を向けてみると、友達との関係で悩んでいる人がいます。仲の良さ、親しさの中にある「いじり」が「いじめ」につながっているのです。あるお笑い芸人のコメント。「いじめる人間は、今はこいつの手柄のためにやってあげないとって考えているから、愛がある。」では、いじめは、相手のことを思っていることでしょうか。「親しさの表現」は、助け合い、励まし合い、性格を尊重する中で自然と生まれるものです。友達へ。私を助け、励ましてくれてありがとう。私も力になれるように頑張ります。

信じること、疑うこと



鈴木大輝さん
(3年・下関)

練習試合で、取れるかわからないパスを出してしまったり、受け手が追いついてくれて、信じてパスを出すことの大切さを知った。社会の時間共謀罪について初めて知った。メリットもあるが、必要以上に警戒したり、捜査したりするのはよくないと思う。でも、信じる気持ちと同時に警戒心ももっていないければならないと思う。また、ネットなどの情報には振り回されないようにもしたい。SNSでのいじめが話題になっているが、直接話さなければ、意図がわからない。聞けるなら直接聞いた方がよい。今後、日頃の他者との生の交流を大事にしたい。信じる気持ちと情報を鵜呑みにしない冷静さの両方をもち、その場にあったよりよい行動をしていきたい。

ファースト



高橋礼人さん
(3年・下関)

私は、自分優先型の考え方はありません。この「自分ファースト」の考え方がいきすぎると、いじめにつながる危険性があります。いじめている人優先の「自分ファースト」になり、「自分が最も優先されるべき」という考えになるのではないのでしょうか。私たちの学校では、いじめについて考えていく活動をしています。私は自分優先型の「自分ファースト」という考え方が消えないかぎり、いじめや差別は消えないと思います。周りにはいる人のことに「無関心」ではなく、自分を大切に思うのと同様に他人のことを尊重し、自分の考えや、自分の国地域を尊重することが「自分ファースト」を変えるきっかけになると私は信じます。